

### 防災拠点（避難所）での基本的な飼育ルール

- ①ペットは地域防災拠点で決めた場所で一時飼育をします。
- ②ペットの管理・運営は「ペット管理委員会」などをつかって、飼い主同士が協力しましょう。
- ③ペットは決められた場所で、ケージに入れるか、支柱につなぎとめるかして飼育しましょう。ケージの置き場所・つなぎとめる場所は防災拠点の運営委員会の指示に従ってください。
- ④ペットの飼育に当たっては、定時の給餌・後片付けを徹底し、ペットの体やケージ内を清潔に保つなど、周囲に影響を及ぼさないようにしましょう。
- ⑤排泄は「動物用トイレ」に指定した場所でさせ、後始末をきちんとしましょう。
- ⑥避難所にはペットの世話ができない飼い主もいます。みんなで助け合いましょう。
- ⑦地域防災拠点で、ペットたちの生活を維持するため、皆さんが共同で行う作業があります。担当の防災拠点の運営委員が指示しますので、ご協力ください。
- ⑧避難所には、一時保護された飼い主不明動物も収容される場合があります。この動物たちの世話を皆さんで共同して行っていただくようお願いします。

### 災害時連絡先

都筑区生活衛生課	045-948-2358
横浜市災害時動物救援本部※ (横浜市動物愛護センター)	045-471-2111
動物救援センター ※	
動物救援病院 ※	
横浜市動物愛護センター	045-471-2111

※大規模な災害時に設置されます。

### 災害発生時

被災時、自宅等に支障がない場合は、在宅避難（自宅にとどまること）も可能です。  
 自宅が被災してペットの飼育ができない場合は、最寄りの地域防災拠点にペットを連れて避難できます。  
 ただし、地域防災拠点は避難生活の場であり、ペット用の物品は備蓄されていません。  
 また、動物を苦手とする人やアレルギーで動物と一緒にいられない人がいることも十分に考えられます。  
 自分がいく最寄りの地域防災拠点では、ペットの受入や一時飼育場所がどうなっているか、確認等をおこなってください。

最寄りの地域防災拠点	
ペットの一時飼育場所	
ペットの飼育ルール	

### 注射情報

狂犬病予防接種歴年/月		
狂犬病予防接種歴年/月		
ワクチン接種歴年/月種類	／ (種)	／ (種)
	／ (種)	／ (種)
	／ (種)	／ (種)
	／ (種)	／ (種)

### ペット同行避難とは、...

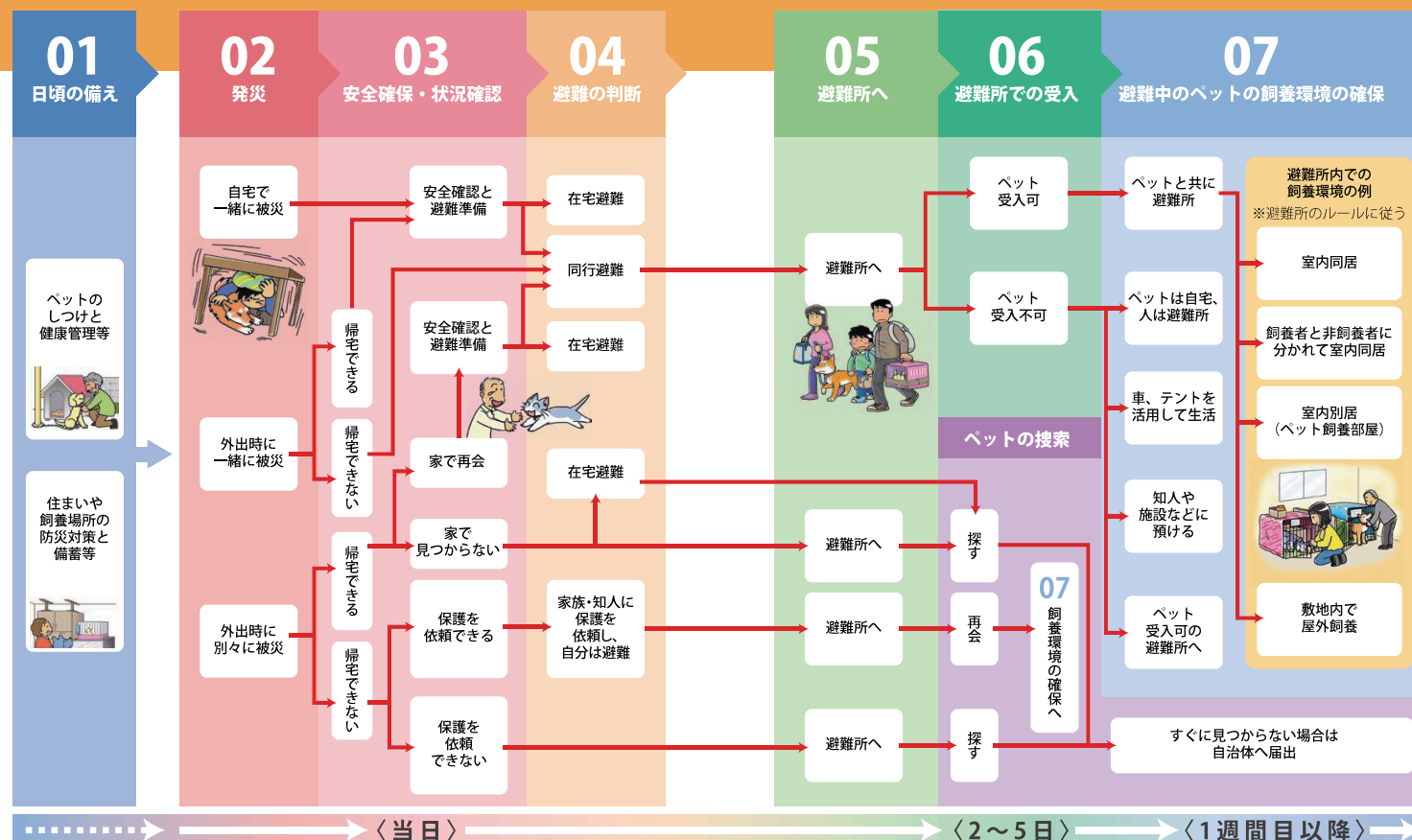
被災時に、地域防災拠点などへペットとともに避難することをいいます。避難所内で飼い主がペットと同室で飼育管理することを意味するものではありません。  
 ペットは人とは別の場所にケージに入れて飼育され、管理等は飼い主がやるのが想定されます。  
 ペットが安全に、周りの人へ迷惑をかけず、共同生活を避難先で過ごすためには、日ごろから防災への心構えと準備が必要です。



### 同行避難のフロー図

もしも、今、災害がおこったらどうなるか？  
 ペットとの同行避難について、災害発生から1週間の流れをフロー図にまとめました。

メモ  
 ・同行避難とは、避難行動を示す言葉であり、避難所でペットを人と同室で飼育管理することを意味するものではありません。  
 ・避難所には、指定緊急避難場所や指定避難所などがあります。



出典:環境省ホームページ ([https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2\\_data/pamph/h3009a.html](https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h3009a.html))

### 防災チェック

1 災害が起こった時、大切なペットを守るため、日ごろから準備をしていますか

- フード・水・薬等の備蓄(可能なら1か月分以上)
- ペットがケージ内で落ち着いていられるよう訓練
- ペットの健康管理、首輪等で所有者明示
- 家具等の固定、窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る。

2 災害が起こった時、ペットの避難をどのように考えていますか

- 在宅避難(住宅に支障がない場合)
- 地域防災拠点へ同行避難(ペット受け入れ状況の確認はしていますか?)
- ペットだけ在宅避難
- 自家用車内等でペットと避難生活(エコノミー症候群に注意)
- 親せき、知人に預ける。

### 防災チェック

3 地域防災拠点(避難所)では、ペットと飼い主が別々の場所で生活する可能性が高いです。ペットを屋外で一時飼育する場合の準備をしていますか

- ケージの用意をしている。
- 飼い主が離れた状態でも、ペットがケージ内で落ち着いていられるよう訓練をしている。
- 他の人や動物に慣らす訓練をしている。

4 災害直後は電話やインターネットが繋がらない場合があります。また、夜間の場合もあります。避難先の情報を調べるなどの準備をしていますか

- 災害時の家族の集合場所や留守中の場合、ペットを誰が迎えに行くかを決めている。
- 近隣の地域防災拠点の場所とそこまでの安全な避難経路を調べた。
- 地域防災拠点毎にペットの受入れ状況を確認した。
- 拠点内でのペットの一時飼育場所を確認した。
- 地域防災拠点訓練に参加し、ペット同行避難訓練を経験した。